050-A

Showa

ヒュームレーサ® 取扱説明書・注意書

このたびは、昭和電機のヒュームレーサをお買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書・注意書は【CA-300S】の仕様について説明しています。ヒュームレーサを『**安全**』に『**効率よく**』ご使用いただくために、この取扱説明書・注意書【**特に⚠マーク部**】をよくお読みください。

この取扱説明書・注意書は、大切に保存してご活用ください。

昭和電機株式会社
大阪府大東市新田北町1番25号

【目 次】

⚠ 1.取扱説明書・注意書の見方について

本文中の【 ▲ **警告**】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**重度の人身事故**】【**火災発生**】の原因となることがあります。
また、【◇! **注意**】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**軽度の人身事故**】【**製品損傷**】の原因となることがあります。

⚠ 2.警告マークの意味について

禁止事項を表します（対象は不特定）

指示の通りにしてください

危険防止策を行なってください

危険にご注意ください（対象は不特定）

分解禁止

アース線を接続してください

感電注意

警告・指示項目は、必ず守ってください。

⚠ 3.ヒュームレーサを【安全】にご使用いただくために

▲ 警告　危険場所への設置厳禁

このヒュームレーサは耐圧防爆構造品ではありません。爆発性雰囲気となる可能性のある場所で運転すると、モータ（電動機）が焼損（焼けて壊れる）した時、周囲のガスが『**爆発**』して危険です。

 警告　火災・爆発を避けるために

爆発性ガス　有機溶剤　火気　は絶対に吸引しないでください。

▲ 警告　火災・感電事故を避けるために

ヒュームレーサの配線は、必ず電気工事の有資格者が施工してください。

▲ 警告　回転中の保守・点検禁止

フィルタの交換・点検は、運転停止後に行ってください。

4.仕様一覧

形　式	出 力	電圧	周波数	定格電流値	最大風量	製品質量	吸込口	吐出口
CA-300S	0.29kw	100V	50/60Hz	8.2A	1.8m³/min	90kg	φ100	φ100

5.周囲温度と吸気温度

周囲温度	0～40℃迄
吸気温度	0～40℃迄

モータ（電動機）の焼損や部品の劣化などにつながります。
必ず、上記の範囲でご使用ください。

6.吸引物質について

爆発性ガス・有機溶剤・火花、火のついたタバコなどは絶対に吸引させないでください。
爆発・火災・製品の損傷の原因となります。

7.点検について

入念に検査・点検を行った上で出荷しておりますが、念のためお手元のヒュームレーサについて、次のことをご確認ください。

・注文どおりの製品か。
・輸送中の【破損・変形】など異常がないか。
・付属部品に欠品がないか。

標準付属品

・スコップ（ゼオライト処理用）

⚠8.設置について

（1）設置環境

①必ず【屋内】に設置してください。

②爆発性雰囲気となる可能性のある場所への設置はできません。

（2）設置方法

設置にあたっては下記の項目に注意してください。

●冷却ファン、冷却空気排気口の上をふさがないでください。

●設置は、水平の位置でガタツキが無いように設置してください。

●正面（スイッチ側）は、メンテナンスのためのスペースを500mm程度確保してください。

（3）電源接続

①電源は、定格電圧・定格周波数でご使用ください。

●電源は100V単相です。

⚠注意　アースは必ず取ってください。電源プラグはアース付きになっています。

（4）運転前の確認

①正しく水平に設置されていますか

②アースはとれていますか

用意が出来ましたら、電源スイッチを入れて、ランプの点灯とともに、冷却ファンが回転するか確認してください。次に運転スイッチを入れ吸込口からの吸引を確認してください。

以上の確認を行った後、吸込口にダクトホースを接続してください。

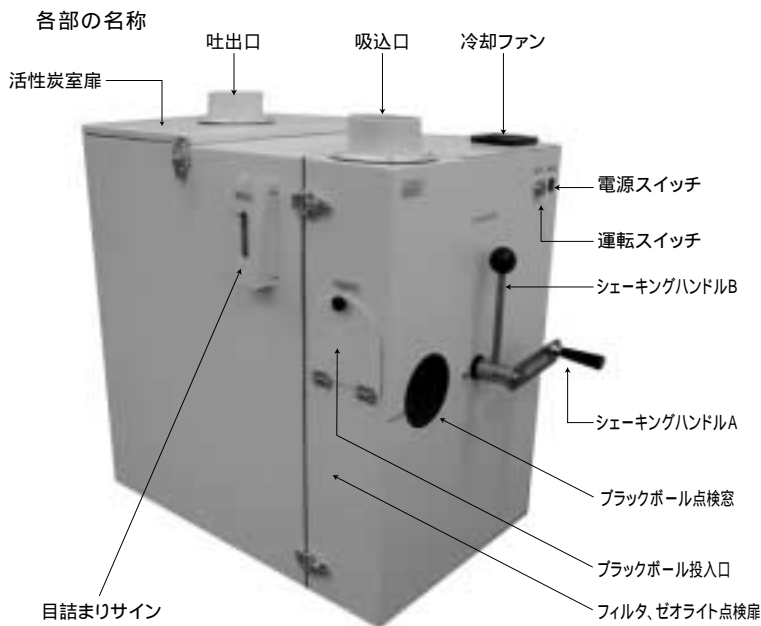
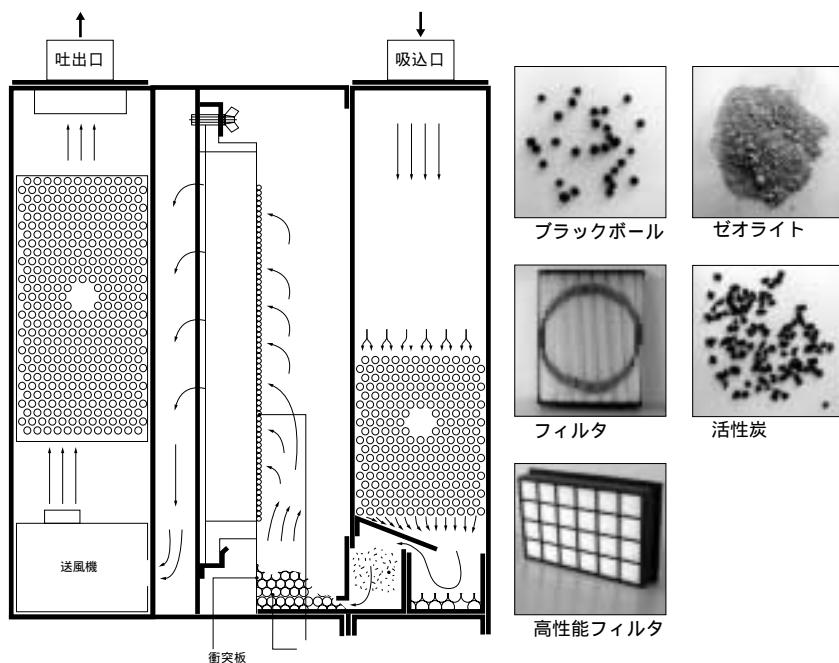
9.配管について

吸込ダクトホースの配管

ダクトホースはメンテナンスが容易で、防振効果のあるフレキシブルダクトホースをご使用ください。

※吸込気体によっては劣化する恐れがありますのでご注意ください。

10.各部の名称、内部構造、消耗品一覧

●各部の名称

●内部構造と消耗品一覧

11.運転手順

①電源コンセントを入れてください。（アースは必ずとってください）
②電源スイッチを入れてください。
③運転スイッチを入れてください。

12.停電時等の運転再開について

停電時は、安全性を考慮し自動復帰（運転）しないようになっています。
停電時の運転再開は次の手順で行ってください。

（1）運転スイッチ、電源スイッチの順にOFFにしてください。
（2）10秒以上経過した後[※1]、電源スイッチをONにしてください。
（3）運転スイッチをONにしてください。
　運転が始まります。

※1.10秒以内に電源スイッチをONにすると安全装置が復帰されませんので（1）からやり直してください。

13.保守・点検について

（1）保守・点検項目

点検項目	手順	頻度
チリ落とし	①	1回（3回転）／日
ブラックボールの位置換え	②	1回／日
目詰まりサインの確認	③	1回／日
ブラックボールの点検	④	1回／月
ゼオライトの交換	⑤	1回／月
粉じんの点検	⑥	1回／月
ブラックボールの補充	⑦	1回／3ヶ月
活性炭の交換	⑧	1回／半年
フィルタの交換	⑨	1回／年
高性能フィルタの交換	⑩	1回／年

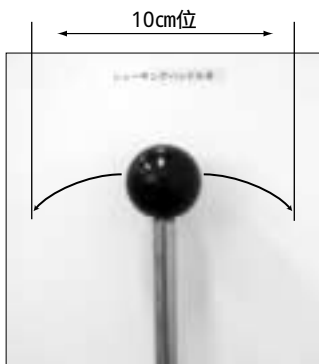
※手順につきましては、以下に示します。

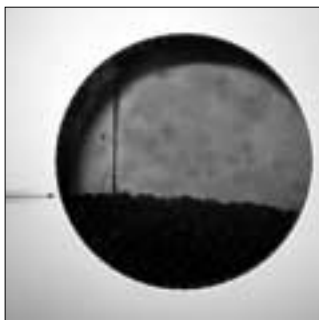
（2）保守・点検手順

①チリ落とし

シェーキングハンドルAを3回転させてください。
（時計回転に回転させてください）

②ブラックボールの位置換え

●シェーキングハンドルBを左右に動かしてください。
　左右に10㎝位2往復動かしてください。

③目詰まりサインの確認

目詰まりサインのフロートが→部まで上がっていないか
確認してください。
チリ落としをしても赤いフロートが下がらない場合は、
フィルタが寿命の場合があります。

④ブラックボールの点検

ブラックボールは矢印の位置が適切です。
点検窓から見えない状態になった場合は→部まで
補充してください。

＊補充方法は、手順 ⑦「ブラックボールの補充」を
　参照ください。

⑤ゼオライトの交換

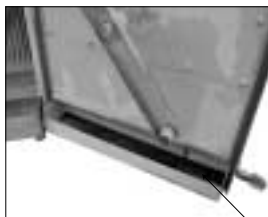
ゼオライト交換目安は、100時間です。

1）ヒュームレーサの運転を停止してください。
2）シェーキングハンドルAを3回転させてフィルタのチリ落としをしてください。
3）チリ落とし後1～2分間待ってからフィルタ、ゼオライト点検扉のパッチンを解除して開いてください。
チリ落とし直後に扉を開けるとゼオライトが飛散します。
4）チリ落としされたゼオライトを専用スコップで取り出してください。
*受け皿を引き出すと周囲にゼオライトが飛散します。
1度の交換量は、スコップ4杯です。（約1400g）
受け皿の3分の2程度が目安です。

注意
ゼオライトを入れすぎるとフィルタへの巻き上げが出来ない場合があります。

※5）投入後扉を閉めて電源スイッチ、運転スイッチを入れて約3分間運転をしてください。
※6）再度扉を開けて受け皿にゼオライトが半分以上残っておれば、スコップでゼオライトを軽く平らにし、再度扉を閉め3分間運転してください。
※ゼオライトを交換した時のみ実施してください。

⑥粉じんの点検

※ゼオライト交換時に点検してください。

受け皿

フィルタ、ゼオライト点検扉下部に粉じん受け皿が入っています。ゼオライト交換時に、受け皿に溜まった粉じんも廃棄してください。

手前に引き出して下さい。
装着時はしっかり奥まで入れてください。
装着が不十分な場合は扉が閉まりません。

⑦ブラックボールの補充

ブラックボールの補充は、ブラックボール点検窓から見えなくなったときです。

適正位置を下回り、点検窓から見えなくなれば出来るだけ早く補充してください。
1回の投入量の目安は、スコップ1杯（約400g）です。
約3ヶ月に1回程度の補充です。
1kg／半年が必要です。

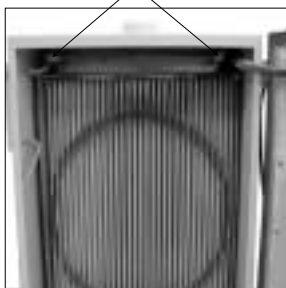
投入時は、ブラックボール投入口のつまみを左に廻して開き、スコップで投入してください。
*投入後はしっかり扉を閉めてください。

⑧活性炭の交換

活性炭室扉を開き、活性炭ボックスを取り出して交換してください。

活性炭交換の目安は、約半年です。
（使用頻度、取り扱いにより異なります。）

⑨フィルタの交換

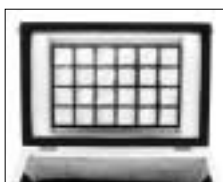
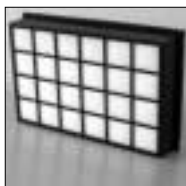
フィルタ、ゼオライト点検扉を開きフィルタ上部の蝶ネジ2ヶ所を左に廻してはずし、フィルタを少し上部へ引き上げるようにして取り外してください。

フィルタ交換の目安は1年です。（使用頻度、取り扱いにより異なります）
＊目安として目詰まりサインのフロートが上限まで達して、チリ落としをしても回復しない場合です。
フィルタ交換前のワンポイント
フロートが下がらない場合、フィルタ交換前に下記の確認を行ってください。

●チリ落とし後、フィルタ表面を確認し、フィルタ表面に粉じんが付着している場合、やわらかい刷毛（ブラシなど）で表面を刷くようにしてください。
フィルタ表面にこびりついた粉じんが取れ、フィルタの白い地肌が見えてくれば再度所定の運転をしてください。さらに繰り返し運転が可能です。

●フィルタを取り外した後、フィルタ後部（ろ過側）に粉が入った場合、掃除機等で吸い取ってから新しいフィルタを取り付けてください。

注意
フィルタはゼオライトの交換が定期的に正しく行われていれば、長期間使用できます。

⑩高性能フィルタの交換

活性炭室扉を開けてください。扉の内側に高性能フィルタが、取り付けられていますので、蝶ネジ4ヶ所を左に廻してはずしてください。

フィルタの交換の目安は、1年です。
（使用頻度、取り扱いにより異なります。）

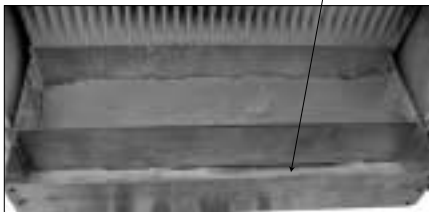
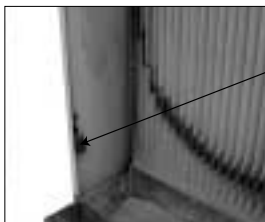
14.お問い合わせの前に

（1）目詰まりサインの赤いフロートが上がっていないのに吸込が低下した。

対策

●シェーキングハンドルBを3～4往復させてください。

↓ 吸込状態が変わらない

●フィルタ、ゼオライト点検扉を開いてください。
ゼオライト受け皿の**中間板下部の隙間**に粉じんが溜まっている場合があります。
ヨウジ等で清掃してください。

（2）吸込は低下していないが、目詰まりサインのフロートが下がらない。
本体フィルタ室内に目詰まりサイン用フィルタが内蔵されています。
そのフィルタの表面をブラシなどで掃除してください。
又フィルタを取り出し、水洗いも出来ますので、清掃してください。

目詰まりサイン用フィルタ

15.お問い合わせについて

(1) 本機の仕様など、技術的なお問い合わせは下記までご連絡ください。

昭和電機（株）　営業推進グループ
TEL.072-870-5708
FAX.072-870-7243

(2) 本機の不具合などの苦情の連絡がございましたら裏表紙の最寄りの支店、
営業所迄ご一報ください。

営業品目

1 電動送風機

- Eシリーズ
- 汎用形シリーズ
- 耐圧防爆形シリーズ
- 安全増防爆形シリーズ
- フランジ形シリーズ
- KSBシリーズ
- 低騒音形シリーズ
- 多段形シリーズ
- ガストブロア®（高圧形シリーズ）
- デンチョク®

3 環境機器

- ミストレーサ®（ミストコレクタ）
- ウインドバック®（携帯形ファン）

4 ファン・ブロア

- デルターボ®（ターボファン）
- エアホイルファン
- ターボブロア
- シロッコファン
- プレートファン
- 軸流ファン
- 斜流ファン

5 集じん機（ダストレーサ®）

- 汎用集じん機
- パルスジェット式集じん機
- カルバケット®
- ヒュームレーサ®

http://www.is-kobo.com

専任スタッフが風力（かぜ）についてのいろいろな
ご質問、ご相談にお応えいたします。

〒574-0052 大阪府大東市新田北町1-25

東部ブロック（関東・東北・新潟県・東北信）				
東京支店	〒121-0061	東京都足立区花畑4丁目30番5号	☎03(3884)3201	FAX03(3884)3130
厚木営業所	〒243-0032	神奈川県厚木市恩名895	☎046(221)6501	FAX046(221)6507
北関東営業所	〒379-2304	群馬県新田郡薮塚本町大字大原2380番地2	☎0277(78)6431	FAX0277(78)6430
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目2番1号 パックス第一ビル2F	☎022(238)3330	FAX022(238)3332
中部ブロック（中部・東海・中南信・北陸３県）				
名古屋支店	〒457-0001	名古屋市南区平子2丁目21番13号	☎052(821)1211	FAX052(821)3573
静岡営業所	〒422-8035	静岡市宮竹1丁目14番24号	☎054(237)2441	FAX054(237)4048
金沢営業所	〒920-0005	金沢市高柳町5丁目6番1号 金沢SKビル1F	☎076(251)8963	FAX076(251)8967
西部ブロック（近畿・中国・四国・九州）				
大阪支店	〒536-0005	大阪市城東区中央2丁目12番14号	☎06(6932)1221	FAX06(6939)3711
福岡営業所	〒812-0004	福岡市博多区榎田2丁目7番14号 サンビュー空港第一ビル1F	☎092(472)6631	FAX092(474)1850
岡山営業所	〒700-0971	岡山市野田3丁目13番39号 野田センタービル1F	☎086(242)3351	FAX086(242)3361
営業推進Gr.	〒574-0052	大阪府大東市新田北町1番25号	☎072(870)5708	FAX072(870)7243
昭和電機札幌(株)	〒061-3241	北海道石狩市新港西1丁目712番地4 石狩新港卸センター内	☎0133(73)5091	FAX0133(73)5093

ホームページ上にてCADデータ申込み受付中

http://www.showadenki.co.jp

JQA-3166
JQA-EM3976

R100
環境保護の為、この取扱説明書は100%再生紙を使用して印刷しております。